

令和4年9月28日

各 部 課 長 殿

市 長 尾 崎 保 夫

令和5年度予算編成方針

令和3年度決算においては、剰余金が過去最高の約29億円となり、経常収支比率が90.8%に低減するなど、数値上の改善が見られるが、これは、新型コロナウイルス感染症に伴う事業の中止や国税の上振れによる普通交付税の増額など、外的要因による一過性のものであって、市税収入が減少するなど厳しい市の財政状況に変化はないものと考えている。

令和4年8月、内閣府が発表した月例経済報告では、「景気は、緩やかに持ち直している」と報じている。経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、従前の物価高・原油高に今般の急激な円安が加わり、輸入原材料や燃料の調達コストを更に押し上げ、企業業績や景気の先行きは、依然として不透明な状況にある。

当市においては、少子高齢化や人口減少に伴う歳入の減少及び歳出の増加が見込まれる中、老朽化した多くの公共施設において突発的な不具合が頻発し対応に迫られており、財政上の課題になっている。加えて、公共施設の更新は、学校施設だけでも約330億円を要す上、起債を財源として事業に着手せざるを得ない状況にあり、今後の財政運営においては、様々な場面で厳しい選択を迫られるものと考えている。

令和5年度予算編成に当たり、こうした財務環境を職員一人一人が直視し、特定財源の確保、無駄の排除、事務の効率化を進めていくとともに、知恵を出し合い課題を先送りせず、人口減少を抑制し市の魅力を高める取組を積極的に検討せねばならない。については、安易に前年度予算を踏襲することなく、職員が一丸となって、将来を見据え住民福祉向上のための予算編成に取り組むものとする。

このことを念頭に置き、国や東京都の予算編成の動向を的確に把握するとともに、この予算編成方針に基づき編成することにする。

1 国及び東京都の予算編成

国及び東京都は、現時点では、次のような考えに基づき、令和5年度の予算編成に取り組むこととしている。

(1) 国の予算編成

国においては、「令和5年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」（令和4年7月29日閣議了解）により、令和5年度予算は、「経済財政運営と改革の基本方針2022」及び「経済財政運営と改革の基本方針2021」に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進することとしている。

要求・要望については、「年金・医療等については、前年度当初予算額に高齢化等に伴ういわゆる自然増を加算した範囲内で要求。ただし、増加額について、「新経済・財政再生計画 改革工程表」に沿って着実に改革を実行していくことを含め、合理化・効率化に最大限取り組み、高齢化による増加分に相当する伸びにおさめることを目指すこととし、その結果を令和5年度予算に反映させること。」、「地方交付税交付金等については、「新経済・財政再生計画」との整合性に留意しつつ要求すること。」、「新しい資本主義の実現に向け、人への投資、科学技術・イノベーションへの投資、スタートアップへの投資、GXへの投資及びDXへの投資への予算の重点化を進めるとともに、エネルギーや食糧を含めた経済安全保障を徹底し新しい資本主義実現の基礎的条件である国家の安全保障を確保する等のため、「基本方針2022」及び「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」等を踏まえた重要な施策について、「重要政策推進枠」を設けること。」などとしている。

(2) 東京都の予算編成

東京都の「令和5年度予算の見積りについて」（令和4年7月29日依命通達）では、令和5年度予算の位置づけを「明るい「未来の東京」の実現に向け、将来にわたって「成長」と「熟成」が両立した光り輝く都市へと確実に進化し続ける予算」としている。

また、基本方針については、①持続可能な未来へと歩みを進めるため、都政の諸課題の解決に取り組むとともに長期的な視点に立ち、従来の発想を打ち破る大胆な施策を積極的に展開すること。②都政の構造改革を爆速で進めることにより、一層活発で機動的な組織へと進化するとともに、無駄を無くす取組を徹底し、活力ある都政を可能とする強靱な財政基盤を堅

持することとしている。

具体的には、「原則としてゼロシーリングを継続する一方、メリハリをつけたシーリングを設定」することとし、「「未来の東京」戦略に係る新規事業についてはシーリングの枠外」、「物価高騰分を確実に予算に反映するため、物価上昇による所要額については、シーリングの枠外」、「事業実績が目標を大きく下回るものなど、更なる見直しが必要な事業については、原則として総額でマイナス 10 パーセントのシーリング」することとしている。

2 東大和市の予算編成

(1) 予算編成の重要事項

①重視する考え方

市が目指す「持続可能な行財政運営」とは、時代がどのように変化しても、将来市民の選択肢を制限したり、奪うことなく、現在の市民の要望を最大限に満たしていくこと、である。時代の変化において、最も影響を及ぼすものは人口減少である。このため、1点目として、人口減少を抑制する取組が重要である。同時に、2点目として、人口減少自体は避けられないことを認識し、減少を見据えた行政運営を今から進めることも重要である。

この2点を進めるため、職員は漫然と業務を繰り返すのではなく、どうしたら市の魅力が高まるかといった人口減少抑制の取組や、人口減少を見据え今の事務はどうあるべきかといった事務改善の取組を、日々の業務に見出す意識が重要である。

第5次基本計画は、上記の2点を根底に置きながら重要施策を位置づけている。基本計画の策定後、初めて編成する令和5年度予算は、基本計画に位置づいた重要施策のうち、特に上記2点に係るものについて本格的に推進していく。

以上を踏まえつつ、令和5年度の予算編成にあたっては、次の点を重視する。

ア 第五次基本計画に基づく重要施策に留意して進める。重要施策のうち、「人口減少を抑制する取組」、「人口減少を見据えた取組」は、特に優先して進めて行く。

イ 引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応を進めていくとともに、感染拡大を防止するための「新しい生活様式・日常の定着」の実践を前提として、これまで実施してきた事業の内容や実施方法を精査した上で、事業を実施すること。

ウ 令和2年度に実施した業務分析等支援業務の分析結果等により行った事務事業の見直しや事務の効率化などについて、検証をすること。

エ 「東大和市第6次行政改革大綱」に基づき、市民サービスの最適化や効果的・効率的な行政運営の観点から、行政改革に取り組むとともに、持続可能な行財政運営のために、民間活力の導入の推進、歳入の確保、歳出の縮減等について、連携を図りながら積極的に取り組むこと。

なお、新たな財源確保により事業を充実させるなどの取組については、予算化が実現できるよう査定を行うこととする。

オ 行政手続き及び庁内事務のデジタル化は、業務の生産性を高める最も有効な手法である。市民サービス向上の面から総合交付金などの特定財源が見込める間に、他市に遅れを取らぬよう進捗させていくこと。その上で、イニシャルコストだけでなくランニングコストに留意しながら、庁内データの有効活用につなげ、事務の効率化を図り、時間外勤務の縮減による働き方改革などの取組を進めること。

カ 喫緊の課題である学校施設長寿命化計画に係る対応については、事業実施に係る諸課題等を洗い出した上で取り組むこと。

また、公共施設の設備などの修繕等については、優先度や緊急性に留意するとともに、限りある財源を有効活用するため、積極的な特定財源の確保に努めること。

キ 開かれた市政の実現のため、施策の形成や課題の対応に当たっては、情報公開の推進と説明責任の徹底を図り、市民の理解と信頼を得ること。

②重要施策等

令和5年度予算編成においても、「日本一子育てしやすいまち・シニアが活躍できるまち」を目指した施策を最も重要な施策として位置づけ、子ども・子育て支援と学校教育の充実を一層図るとともに、健康寿命の延伸やシニアの方々の地域での活動を支援する施策を進める。

具体的には、第五次基本計画に位置付けた4つの重要施策（①子ども・子育て支援施策の推進、②健康・高齢者施策の推進、③都市の価値を高める施策の推進、④持続可能な行財政運営等の推進）に重点的に取り組むことにより、少子高齢化と人口減少の進展に対応し、市民の皆様が将来にわたって住み続けたいと思っただけの魅力あるまちづくりを推進していくこととする。

（2）予算見積もりの考え方

①全般的事項

ア 予算の見積もりに当たっては、決算及び収入未済額や不用額を含めた執行状況を検証し、積算根拠について十分精査すること。

また、当該事業に係る制度や目的、内容等を改めて精査し、事業の必要性、効果等を検証し、真に必要な事業を計上すること。

イ 実施する主要事業については、「東大和市実施計画」に計上された主要事業を基礎とするが、事業の必要性、効果に加え、実施時期等の実効性を改めて検討し、真に必要な事業を計上すること。

ウ 公共施設の維持管理については、包括施設管理業務委託による調査結果等を踏まえつつ、今後、予防保全の対応に切り替えていく予定であるが、現時点で多くの施設の老朽化が進んでいるため、当面の間は、事後修繕を中心に対応せざるを得ない状況にある。

また、これらの修繕を進めて行くためには、減価償却費としての建物の修繕料を予算化していくことが必須であるが、一般会計等だけで毎年約16億円を超える多額の費用となるため、現在の基金残高では不足が見込まれるところである。

については、課題を将来世代に先送りすることなく前に進めるためには、職員一人一人が厳しい現状を理解し、財源確保が極めて重要であることを認識する必要がある。その上で、公共施設の老朽化対策の見積りにあたっては、所属する部署を超えて連携を図りながら積極的な財源確保に尽力すること。

②歳入予算

新型コロナウイルス感染症の影響について、収束が見通せない中、現時点では確たる見積りが難しい状況になっている。市税の推計については、令和3年度決算や令和4年度の収入状況等を参考にするなどして積算すること。

- ア 市税や都税に連動する交付金などについては、引き続き推計が困難な状況であるが、国の税制改正の内容や影響等の動向などにも留意すること。また、課税客体を的確に把握するとともに、引き続き収納率の向上に取り組むこと。
- イ 地方交付税は、地方の固有財源（一般財源）として位置づけられており、今後、国が策定する地方財政対策及び地方財政計画の内容を十分に注視すること。
- ウ 国庫支出金及び都支出金については、その動向を的確に把握し、各事務事業の財源として積極的な財源確保に尽力すること。
- エ 分担金・負担金及び使用料・手数料については、受益者又は原因者の適正な負担を検討し、自主財源の確保を図ること。また、収納率の向上を図ることにより負担の公平性を保つこと。
- オ 未利用財産等について積極的な活用を検討し、歳入の確保に努めること。

③歳出予算

引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時的な経費が発生する一方で、歳入は確たる見積が難しい状況であることから、既存の事業について、その必要性を改めて検討し、見直しを図ること。

また、このような中において扶助費については、障害者福祉費、児童福祉費、生活保護費が高止まりの状況となり、繰出金についても高齢化社会の進展に伴う医療・介護の給付等により、多くの予算執行が見込まれる。

さらには、老朽化が進んでいる公共施設等の対応については、各施設の空調の更新や学校施設の長寿命化に加え、照明のLED化など、今後の更新等の経費に多額の財源が必要となることを見据え、改めて歳出全体の見直しを図ること。

なお、「（１）予算編成の重要事項」及び「（２）①全般的事項」や、別に定める予算編成要領等に基づき、予算見積書を作成すること。

ア 政策的経費については、「東大和市実施計画」に計上された主要事業を基礎として見積もること。

なお、令和５年度予算編成過程において、予算全体で財源不足が見込まれる場合には、事業の中止及び休止等により別途調整する。

イ 経常的経費については、職員人件費や公債費等を除き、見積上限額の範囲内の額とし、かつ配当する一般財源の額を超えないこと。

各課において見積上限額を超えてしまう場合には、各部における見積上限額の合計を超えないよう、必ず部内で調整を図ること。

なお、見積上限額の合計を超えて提出された場合には、再調整を依頼する。

※見積上限額は、「経常的経費の調べ」における経常的な経費に充当した一般財源の額から 2.0%減じた額とする。

ウ イベント関係の見積もりにあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、事業実施の可否を検討すること。事業費を見積る場合は、実施場所、実施時間や実施方法など、改めて事業の内容を精査すること。

エ 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴い、事業収入が減少し、歳出予算の増額が見込まれる（又は現に増加している）事業については、「コロナ前の状況には戻れない」ことを認識し、創意工夫をもって事業内容を見直すことにより、事業費の縮減に取り組むこと。

オ 事務改善を図り、合理化・効率化を進めることにより、事務管理経費をはじめ、どうしたら時間外勤務手当が縮減できるかなど、積極的な取組を行うこと。

カ 会計年度任用職員に係る予算の計上については、単に繰り返し同様の予算を組むのではなく、業務の進め方を見直すなど、必要性等を十分に精査した上で、真に必要な配置分について見積もること。
また、社会保険料については、令和4年10月に全国健康保険協会から地方公務員共済組合に移行することから、令和5年度は通年の予算として適切な額を見積もること。

キ 公共施設等の保全に係る経費のうち軽易な内容については、過去の実施状況等を踏まえて、その改善に必要な予算を見積もること。

④特別会計及び下水道事業会計予算

特別会計及び下水道事業会計における各事業についても、前記の「(1) 予算編成の重要事項」及び「(2) ①全般的事項」等に基づき、予算を見積もること。また、特別会計及び下水道事業会計として経理する原則を踏まえ、一般会計繰入金については、制度に基づき一般会計が負担する経費に係る基準内繰入金と、それ以外の基準外繰入金を明確に区分し、負担の適正化や経費の縮減等により、基準外繰入金の抑制を図ること。